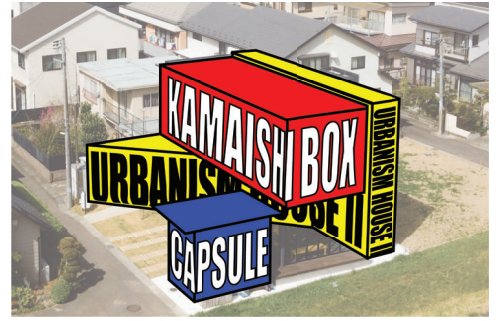


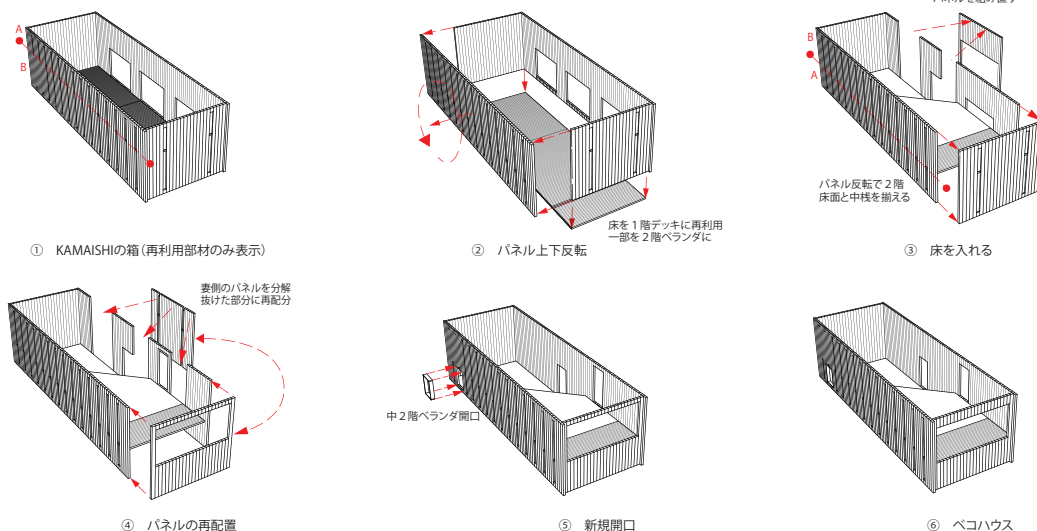
ベコハウス

設計監理：吉川彰布 + 松本純一郎設計事務所
松本純一郎 小原麻未 久慈七実



ベコハウスは故芳賀沼整の作品「都市計画の家II」(2003)の他、東日本大震災の復興支援として建てられた縦ログ構法のプロトタイプである難波和彦・界工作舎の作品「KAMAISHIの箱」(2011)を解体再利用し、そこに同構法で建てられた吉川設計の「CAPSULE BOX」(2021)を加えた構成となっている。それぞれ設計者、竣工時期、敷地などが違う作品が新しい敷地に結集し、新たにベコハウスとして生まれ変わるにあたり、各々のコンセプトを独自に解釈し、その精神を継承しながら再構築した建築である。そして近年の内向的かつ閉鎖的な日本住宅と住まい方に対して都市に開かれた住まいの在り方や、周辺環境を取り入れ、寄与する建築の提案でもある。

KAMAISHIの箱からベコハウスへ改む



建築概要

[建物名称]	ベコハウス
[発注者]	吉川彰布
[用途]	住宅+事務所
[所在地]	仙台市太白区東郡山1-22-2
[設計監理]	吉川彰布+松本純一郎設計事務所
基本設計	吉川彰布
実施設計	松本純一郎設計事務所
構造	清水靖真 近藤幸輝
設備	(株)智建築設備設計事務所
[施工]	建築/(株)おほり建設 (有)アトリエ海(施工協力)
設備	(株)冷暖
電気	(株)エディソン
[規模]	構造 木造+鉄骨造
階数	地上2階
敷地面積	211.10㎡
建築面積	114.25㎡
延床面積	212.92㎡
[設計期間]	2021年4月~2022年4月
[工事期間]	2022年5月~2023年1月